



MASTER'S PROGRAM IN
BUSINESS ADMINISTRATION
GRADUATE SCHOOL OF
BUSINESS ADMINISTRATION
ASAHI UNIVERSITY

朝日大学 大学院

経営学研究科 経営学専攻
修士課程



〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851

連絡先：学事二課 経営学研究科担当

Tel.058-329-1077 (ダイヤルイン)

Fax.058-329-1253

Email gakuji2@alice.asahi-u.ac.jp

URL <http://www.asahi-u.ac.jp/>



一般教育訓練
給付金について



朝日大学は、日本高等教育評価機構が定める
大学評価基準を満たしていると再認定されました。



Access

- JR東海道本線「穂積駅」下車、
スクールバス「朝日大学」行き約5分
又は徒歩約20分
- JR東海道新幹線「岐阜羽島駅」下車、
車で約20分
- 名神高速道路・岐阜羽島 I.C から、
車で約20分
又は名神高速道路・大垣 I.C から、
車で約30分
(国道21号線、岐阜県庁から西へ約5分)

地域を研究、 経営学を創造・実践。 キャリアとして身に付ける。

建学の精神

本学の建学の精神は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人的知性に富む人間を育成することにある。

社会性について

人類共存の理念は、今や地球の資源・環境問題をはじめ高齢化社会に伴う労働問題、先進国の国際経済問題、発展途上国の社会経済問題など、解決すべき諸問題に直面している。これらの課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、国際性と社会性に富む人間、和を重んずる心豊かな人間を育成する。

創造性について

人類は、科学・技術のめざましい発展により、物質的豊かさを獲得したが、この科学・技術の発展はまた、豊かな人間性の涵養に資するものでなくてはならない。先端的科学の進歩と豊かな人間性との調和を図るため人類は創造的英知を発揮する必要がある。本学は、このため自然科学と人文・社会科学、その他芸術との学際的協力により、専門的かつ総合的な教育・研究活動を推進する。

人的知性について

高度な産業化・情報化の社会を迎えて、人間の生活様式も価値観も激変している。このさい科学・技術の健全な発達を図る反面、技術の独走が警戒される。従って人類普遍の理念としての人間性の発揚を志し、自己を確立し、人権と自由を尊重する調和ある国際未来社会を建設する必要のため、新しい人的知性の涵養を企図するものである。

経営学研究科長 板谷 雄二

朝日大学大学院経営学研究科は、1995年4月に開設しました。その間217名以上の修士(博士前期)課程修了生、13名の博士(博士後期)課程修了生を輩出し、現在各界で活躍しています。開設当初は情報管理学という専攻名で、経営学と情報学を総合的にとらえる学際的な研究科でした。現在は経営学専攻となっておりますが、当初の精神が受け継がれており、従来の経営学の枠にとどまらない研究科となっています。その一端がプロジェクト研究です。プロジェクト研究では、現在の一つの分野では解決できない課題の解決にチャレンジしています。そのためには、従来のような一人の教授から研究指導を受けるだけではなく、周辺分野の複数の教授からも指導を受けることが必要です。本研究科ではそれが可能です。すでに活動している3つのプロジェクト研究では、岐阜を中心とした中部地域をフィールドとして、数々の成果を出しています。これら以外でもみなさんが課題をおもちて提案していただければ、複数の教授の協力を得て、解決に導けることでしょう。もちろん、一人の教授についてみっちり研究を行う、従来型の研究(専門研究)もあり、一つの分野を究めることも可能です。一緒に、未解決の課題に取り組んで、混迷する現代社会に貢献しませんか？

朝日大学

目まぐるしく変化してゆく時代の中、
経営学のエキスパートとして
自らの夢を実現する。

たくさんの先生から
研究を指導して
もらいたい。

教育目的

本研究科修士課程は、建学の精神を教育理念とし、その具現化を目的として、以下の三つを教育目的に掲げています。

研究者養成を目的とする教育

研究者となることを目的とする者に対して、その資質を見極め伸ばすことにより、学術研究の推進と国際貢献が可能な能力の開発を目指します。

高度職業人の養成を目的とする教育

より高度な職業に就くことを目指す者に対して、高度な専門知識を有し、なおかつ、高度情報通信社会が求める新しいビジネスセンスを持つ人材の育成を目指します。

高い専門的素養を身に着けることを目的とする教育

より質の高い専門教育を受けることを求める者に対して、学部教育の上に積み上げられる専門性の高い素養を身につけることを目指します。

教育方針

↑ 実践的で創造的な能力の育成

企業経営の実践の現場で役立つ知識の習得とそれを使った独創性のある企業活動を支える能力を育成します。

高度な判断力・問題解決能力の育成

意思決定の現場でぶれない判断力を養い、組織が抱える問題を解決する能力を育成します。

高度なデータ解析とその結果を
経営現場に反映させる能力の育成

巨大なデータを解析し、そこから秩序ある法則を導き出し、その結果を経営現場にフィードバックできる能力を育成します。

コンプライアンスセンスの育成

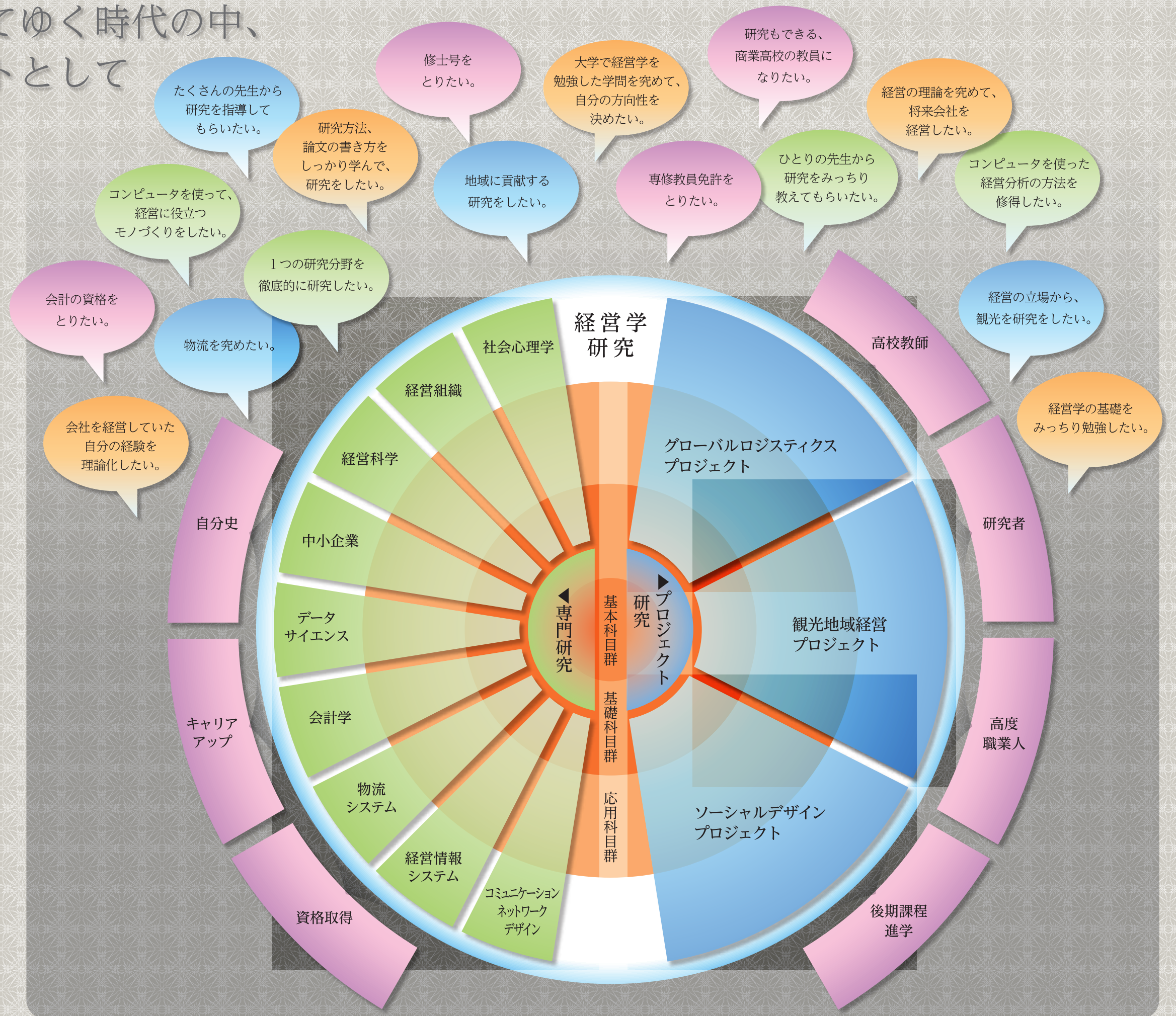
企業の社会的責任を自覚し、コンプライアンスを遵守する
センスを育成します。

教育課程の体系化と実体化

大学院としての教育研究の質的充実を図り、教育課程の
体系化と実体化を目指します。

教育方法の特例(昼夜開講)等の導入

教育方法の特例(昼夜開講)およびセメスター制(学期の区分によって授業が完結する。)の導入を図り、社会人の受け入れと履修を考えた教育体制の確立を目指します。



専門領域における経営学の深化。

専門研究

経営学研究科では、より専門性の高い学術の理論及び応用を教授研究します。高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とします。専門研究では、次のような方を求めています。

- 理論や分析など学術研究の分野でより専門的な知識を身につけたいと希望する方
- より専門性の高い職業に従事するための知識を身につけたい方
- 企業で身につけた知識をまとめたいと思っている方

創造性を生かした経営学の実践。

プロジェクト研究

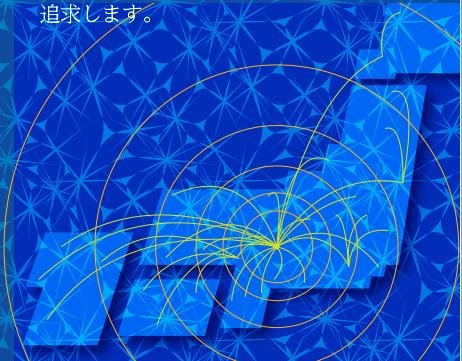
経営学研究科での教育は、問題発見・解決能力を高めて組織体が抱える問題の解決に挑戦する人材の育成を目指しています。プロジェクト研究においては、複数の教員がプロジェクトを遂行するためにそれぞれの専門知識を持ち寄り、学際的で分野横断的な研究指導を行います。プロジェクト研究では、次のような方を求めています。

- プロジェクトを企画運営して行く能力を身につけたいと希望する方
- 自身の専門知識を伸ばすとともに、他分野の知識を積極的に身につけたいと希望する方
- すでに研究課題をもっていて、それに対するアプローチの仕方を学びたい方

現時点で次の3つのプロジェクト研究が行われていますが、ニーズやシーズに応じて新たなプロジェクトの立ち上げも検討していきます。

グローバルロジスティクスプロジェクト

岐阜県は本州のほぼ中央に位置し、物流の拠点として昔から栄えてきました。このため拠点を効率的に繋ぐことができる地の利を活かして、県下に物流拠点を置く企業は多くあります。本プロジェクトはこのような地域的な優位性を持つ岐阜の物流拠点が日本全国、そして世界の物流拠点となるための必要な問題を探り、解決していくとともに物流の未来を考えます。具体的には、地域物流の効率化、高度化には、荷主、物流事業者、そして行政・地域の動向を地域市場の視点から捉える視点が欠かせません。荷主企業の実態や意向、対応する市場の核となる物流業者の課題等を探るロジスティクス研究が不可欠です。グローバルな視点での需給両者の比較分析を踏まえ、これからの市場の効率化、高度化の課題、方途を追求します。



観光地域経営プロジェクト

観光振興が国策となった時代背景を考慮しながら、それに踊らされず地域の姿を見据えた施策・運営を経営学的立場から研究します。人口減少社会が地域コミュニティの活力を奪う一方、インバウンドの増加などによって観光産業が持つ役割に期待が集まっています。一方、外国人への十分な対応ができないことや民泊の問題、観光者のリピート率が低い地域や単なる通過地点になってしまう地域、観光資源を発掘・活かし切れていない地域など、観光に関する様々な問題が山積しています。本プロジェクトでは、観光を「外部の客を呼び込む」ことではなく、「ある地域が他地域の人と対等な関係を結んでいく」という側面から考えます。自身の地域に対する誇り(地尊心)の向上と、そのために必要な地域(観光)資源の再発見を通して、一過性のブームに踊らされない観光と地域の関係を捉えていきます。



ソーシャルデザインプロジェクト

地域や社会の問題を解決しサステナビリティのある社会(ビジネスモデル)を提案します。ソーシャルデザインとは、自分たちの問題を解決するための思考法、発想法、活動のことを指します。ここでは複雑な社会的課題の解決のために、課題となる問題点を見つけ、解決のためのアプローチを探します。モバイル、ネットワークなど技術的視点に基づく解決案を示します。また、商品やサービス、あるいは携帯アプリなどのプロトタイプを作成します。作成したプロトタイプを実際に利用してもらい、改善と次のステップについて、学際的な視点・アプローチで取り組みます。ここでは、過疎や高齢化といった地域の社会的課題に取り組むための実践的な課題発見・課題解決能力を身につけることを目指し、自らの課題を解決するための具体的な提案を行います。



〈経営学研究科カリキュラム〉※各科目2単位

基本科目群	基礎科目群	
経営学 研究法	会計学特論	国際経営学特論
	企業特論	社会心理学特論
外国語文献 調査法	企業法特論	人事管理特論
	経営科学特論	物流特論
論文作成法	経営情報学特論	マーケティング特論
	経営統計学特論	マネジメント特論
	経済学特論	

応用科目群		プロジェクト 研究指導 科目群	個別研究指導 科目群
経営情報システム特論 企業などで戦略的に活用する情報システムの仕組みについて学びます。			
経営事例研究特論 マネジメントの成功／失敗の実例から、多種多様な経営の実践と理論を学びます。		プロジェクト 研究Ⅰ	演習Ⅰ
コミュニティ心理学特論 人のつながりを実地的・システム論的・人間中心主義的立場から考察します。			
社会シミュレーション特論 コンピュータを用いた様々なシミュレーション技法を学び、社会現象を再現します。		プロジェクト 研究Ⅱ	演習Ⅱ
税法特論 A・B 経営学・会計学分野で必要な税法に関する知識を身につけます。			
ソーシャルデザイン特論 課題発見とデザイン思考に基づいた、社会問題解決のための力を身につけます。		プロジェクト 研究Ⅲ	演習Ⅲ
地域産業特論 地域に根ざした中小企業のありようを理解し、地域社会の形成と産業の発展を考えます。			
地域ロジスティクス特論 物流効率化と社会的課題対応への両立を目指し、地域物流の諸課題を分析します。		プロジェクト 研究Ⅳ	演習Ⅳ
地方財政特論 地方自治体が提供する公共サービスの源泉という視点から、税や年金の問題を理解します。			
中小企業会計特論 中小企業会計基準の理論と実務を総合的に理解した上で、これにかかわる諸課題を論考します。			
データサイエンス特論 適切なデータの収集・加工法を基礎とし、ICTを利用した発展的分析法を身につけます。			
特殊講義Ⅰ	特殊講義Ⅱ		

〈修了の要件〉 本研究科の修士課程に2年以上在学して所定の授業科目30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士(経営学)の学位が授与されます。

時間割例

1年生	時間割に沿って、基本・基礎・専門科目を履修し、経営学の実力を身につけます。
2年生	演習Ⅲ・Ⅳ(指導教員)の履修を通じて、修士論文研究指導を受け、完成させます。

	月	火	水	木	金	土
I 時限 (9:00-10:30)						全学生 時間帯
II 時限 (10:45-12:15)		一般・外国人留学生				
III 時限 (13:10-14:40)		時間帯				
IV 時限 (14:55-16:25)						
V 時限 (16:35-18:05)		全学生時間帯				
VI 時限 (18:30-20:00)		社会人学生時間帯				

※社会人はV時限・VI時限＋土曜日を中心に履修可能

集中講義	8月・2月に開講
------	----------

科目履修例

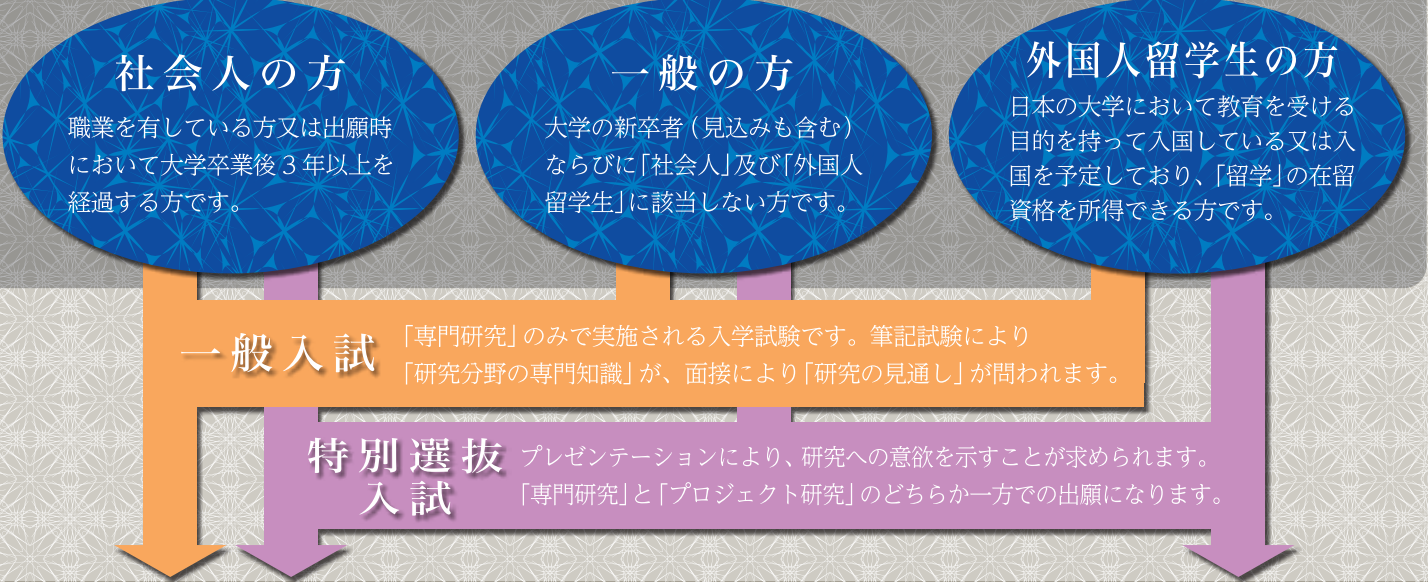
「専門研究」生 (会計学)	
基本科目群	経営学研究法、外国語文献調査法、論文作成法
基礎科目群	会計学特論、企業特論、経営科学特論、経営情報学特論、経済学特論、マネジメント特論
応用科目群	地方財政特論、中小企業会計特論
個別研究指導科目群	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

「プロジェクト研究」生 (グローバルロジスティクス)	
基本科目群	経営学研究法、外国語文献調査法、論文作成法
基礎科目群	会計学特論、経営科学特論、経済学特論、国際経営学特論、物流特論、マーケティング特論、マネジメント特論
応用科目群	地域ロジスティクス特論
プロジェクト研究指導科目群	プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

※指導教員あるいはプロジェクトコーディネーターに相談して、研究テーマに応じて履修する科目を決めます。

本大学院に入学するには

※大学を卒業していなくても、卒業した方と同等以上の学力があると認められれば出願できます。詳しくはお問い合わせください。



専門研究 各教員が専門とするテーマの集中指導を受けます。	プロジェクト研究 3種類のテーマから1つ選び、複数教員からの共同指導を受けます。
--	--

特に社会人にとって有利な制度

〈教育訓練給付制度〉 一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)または被保険者であった者(離職者)が、本研究科を修了した場合、本人自らが支払った教育訓練経費の20%に相当する額(最大10万円)がハローワーク(公共職業安定所)から支給されます。詳しくは本学HPまたは厚生労働省HPをご参照ください。

〈長期履修制度〉 2年間分の学費で最大4年間まで在籍でき、本業の都合に合わせて、じっくりと研究をすることができます。例えば、最初の2年間で修了要件単位を修得し、次の2年間は研究に集中して学位論文を完成させ、合計4年間で修了をすることも可能です。

〈例〉

1年目
研究とともに
16単位修得

2年目
研究とともに
14単位修得

3年目
研究に専念し
学位論文の準備

4年目
研究に専念し
学位論文を完成

〈早期修了制度〉 入学前に学会等に論文を発表するなど、既に研究が進んでいる方は、修了要件単位の全修得を条件に、最短1年間の在学期間で修士論文を提出することが可能です。ただし、課程を修了するには、学位論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

本大学院で勉強・研究できる、その他の制度

大学院への進学準備、共同研究によって企業の抱える問題を解決、より高く深い生涯学習、高度専門人材としての知識を身につけて就職する等、さまざまな支援が可能となる制度として、次があります。

〈研究生〉 教員との共同研究や、大学院への進学準備をするために、まとまった研究・勉強時間を確保できる制度です。合計2年まで在籍でき、大学院修了後にさらに研究を深める期間としても利用できます。

〈科目等履修生〉 大学院で開講している授業科目を1科目から受講可能で、修得した授業科目の単位は、大学院入学後、単位認定の申請に基づき、修了要件単位の一部として参入できます。

4月入学と9月入学ごとに、「一般入試」と「特別選抜入試」それぞれを複数回実施します。
募集要項の請求や入試制度などの詳細は、学事二課経営学研究科担当へお問い合わせください。

教職課程

〈高等学校教諭専修免許状「商業」の取得〉
高等学校教諭一種免許状「商業」を有する方は、
所定の単位を修得すれば、高等学校教諭専修免許
状「商業」を取得することができます。

診療費補助制度

本学の附属病院等（朝日大学医科歯科医療センター、
朝日大学病院、PDI 岐阜歯科診療所）における診
療費の自己負担金を補助します。
（保険診療は全額、自費診療等は半額）

研究科のポリシー

アドミッションポリシー

経営学研究科修士課程の人材育成に関する目的は、広い視野に立って精深な学識を授け、経営学・情報学分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことである。このような目的を実現するために、本研究科では、複数の教員が指導を分担し抱えている問題を解決する「プロジェクト研究」と一人の教員がその専門領域についてじっくりと指導する「専門研究」の2つの研究手法を用意している。そして、それぞれについて経営学に関する基礎学力又は相当の経歴・経験を有し、幅広い学術研究の推進を実現できる次のような者を求めている。

- 【専門研究】 ・経営学領域の研究者や教育者を志す者
・高度な専門知識を取得したい、あるいは高度な専門資格を取得したいと考えている者
・社会人として活躍しながら経営学領域における問題解決能力を高めたいと考えている者
・国際的な視点を持ち高度な知識を身につけたいと考えている者
・学際的な研究知識を身につけ、分野横断的なフィールドで活躍したいと考えている者
- 【プロジェクト研究】 ・研究課題として解決すべき問題を持っており、それに対する解決手段を知りたい者
・経営学研究科が用意したプロジェクト型の研究課題の領域に問題意識があり、そのような問題の解決を望む者
・新たなプロジェクトを企画運営して行く能力を身につけたいと希望する者
・自身の専門知識を伸ばすとともに、他分野の知識を積極的に身につけたいと希望する者

経営学研究科では、以上のような2つの研究方法別に学生の受入れを行うことで種々の入学試験を用意している。専門研究については、学内の優れた学生が早期に進路を決定しやすくなるための学内推薦、一般学生・社会人・留学生を幅広く募集する学力中心の一般学力試験、同様に一般学生・社会人・留学生の研究意欲を問う特別選抜試験を実施し、様々な切り口から、多様な大学院生を募集している。一方、プロジェクト研究については、その性格上、抱えている問題点について本研究科で解決可能かどうかを議論することができる特別選抜入試を実施している。

カリキュラムポリシー

経営学研究科修士課程の人材育成に関する目的は、広い視野に立って精深な学識を授け、経営学・情報学分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことである。本研究科修士課程では、アドミッションポリシーに示したとおり、「プロジェクト研究」と「専門研究」の2つの研究方法について、大学院生を募集する。このような研究科入学の目的に合わせて二種類のカリキュラムを用意する。すなわち、既に研究の目的が明確な「プロジェクト研究」では、高度な専門領域の特論科目を履修するのではなく、基本科目群＋基礎科目群とプロジェクト研究指導科目群の履修により修了要件を満たすことを可能とする。一方、「専門研究」では、基本科目群＋基礎科目群に加え、高度な専門領域の応用科目群の特論科目を履修し、個別研究指導科目群により研究指導を受けることで履修要件を満たすことができるようにする。本研究科のカリキュラムは、講義内容の連続性や科目の重要性を考慮して、次の4つに区分する。

- 1) 基本科目群：「研究の方法」、「文献調査法」、「論文作成法」といった、研究の推進・論文作成に必要な知識を身につけることを目的とした科目群である。教員の専門分野における研究方法や研究倫理、情報セキュリティ、CSR などについて、各教員がオムニバスで講義する「経営学研究法」、主に外国語の文献調査の方法、図書館の使い方や文献整理方法について学ぶ「外国語文献調査法」、修士論文の書き方をはじめとする「論文作成法」の3科目を必修科目として配置する。
- 2) 基礎科目群：経営学研究に必要な基礎的な特論科目を配置し、高度な資格取得を目指す者やプロジェクト研究を行う者は、基礎科目群を中心として履修することで単位が充足できるように設計する。基礎的な特論科目を中心に13科目を配置する。この中から3科目6単位以上を必修選択科目として履修する。
- 3) 応用科目群：専門研究を進める上で必要となる高度な専門知識を修得するための科目群である。研究科の基本方針に従い、地域に関連する特論科目を充実させるように配慮する。時事問題等を扱う「特殊講義」2科目を含む14科目を配置する。いずれも選択科目とする。
- 4) 研究指導科目群：研究指導を受けるための演習科目群である。「問題解決型」のプロジェクト研究を選択した者のための「プロジェクト研究指導科目群」、4科目又は専門研究を選択した者のための「個別研究指導科目群」、4科目があり、選択した研究方法に従いどちらか4科目を必修として履修させる。
- 5) 以上、基本科目群、基礎科目群、応用科目群、研究指導科目群の必修科目・必修選択科目を含めて、15科目30単位以上を修得させる。

ディプロマポリシー

朝日大学大学院経営学研究科修士課程は、教育目的に基づき、課程修了時に主専攻分野についての高い学識及び応用力並びに基礎的研究能力を身に付けていることを到達目標に掲げている。当該課程に必要な年限以上在学して所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に対して、修士（経営学）の学位を授与することとしている。

教員紹介

研究科長

板谷 雄二
Yuji Itaya

経営科学特論

社会シミュレーション特論

経営学研究法

複数の要素から成り、それらが互いに関連性を持ち、全体として目的を持っているものを「システム」と呼んでいます。私たちの周りにある多くのものをシステムととらえることができます。経営問題をシステムとしてとらえ、様々な手法を用いて問題を解決していきます。そのために、システムをモデル化し、それを解析します。

〈担当科目について〉

「経営科学特論」ではシステムを解析する手法と経営問題への適用例について学びます。私たちの社会を取り扱うには、社会自体が複雑です。ので、解析に際してモデル化が重要になります。「社会シミュレーション特論」では、モデル化の手法、その解析方法、およびコンピュータを用いた現象の再現方法を学びます。

〈修士論文のテーマ例〉

- ・社会システムのモデル化に関する研究
- ・コンピュータ援用システムに関する研究

観光地域経営プロジェクト
コーディネーター

畦地 真太郎
Shintaro Azechi

社会心理学特論

コミュニティ心理学特論

経営学研究法

実証的な心理学研究法を用いていれば、学生の主体性に任せたテーマ設定が可能です。漠然とした課題でも、きちんとしたデータ測定ができるレベルまで、共に考えていきます。ちなみに教員の研究テーマは「地域イメージ」ですが、関連して民俗宗教や粉食文化などについても研究を行っています。

〈担当科目について〉

企業や非営利組織、地域コミュニティも含む“人々の集まり（集団）”の中で、人がどのように行動していくのかについて、幅広い心理学の知見と方法論を活かして研究していくことを学びます。主に「社会心理学」では定量的なデータの、「コミュニティ心理学」では定性的なデータの扱いについて、背景となる理論と共に学習します。

〈修士論文のテーマ例〉

- ・タイ人留学生が日本で感じるカルチャーショック
- ・岐阜県高山市におけるインバウンドの障害要因



荒深 友良
Tomoyoshi Arafuka

マネジメント特論

経営事例研究特論

経営学研究法

〈修士論文のテーマ例〉

- ・環境の変化と組織の適応能力
～組織の成否を左右する要因は何か～
- ・分権化と組織デザイン
～自律的組織単位の編成と運営～

現代社会では、企業活動をはじめ、私たちの社会における諸活動の規模や範囲が拡大し、複雑になっています。こうした中、活動の主体としての「組織」の重要性はますます高まって行くものと考えられます。組織について理解し、そして組織の運営方法を学習することは、豊かな社会を築くための必要条件です。組織理論を共に学び、そして実社会での実践に応用する方法について一緒に考えていきましょう。

〈担当科目について〉

「マネジメント特論」では、企業活動をはじめ、さまざまな目的活動において、限られた資源と時間の制約の下、目的を効果的かつ効率的に達成するために必要不可欠なマネジメントについて学習します。「経営事例研究特論」では、不確実な経営環境の中で活動する業種や規模の異なる産業企業や非営利の組織体を対象として、各種の経営事例を考察します。



荻久保 嘉章
Yoshiaki Ogikubo

企業特論

地域産業特論

経営学研究法

〈修士論文のテーマ例〉

- ・中国企業の対日投資 ～青海蔵羊絨毯の事例研究～
- ・伝統的商法の研究

中小企業は社会的・経済的、さらには人的・文化的な側面においても地域社会と密着しており、中小企業の諸活動は地域社会の盛衰に大きな影響を与えていると考えます。ここでは、中小企業の存立のありようを地域の資源として再認識し、「地域らしさ」を生かした内発的発展の方策を考察します。

〈担当科目について〉

地域に根ざした産業は、地域内で隣接する産業を相互に作用・啓発し、地域内の諸活動の活発化とマネーフローの拡大が期待できます。「地域産業特論」では、こうした産業の存立についての論考を通じて地域社会のありようを理解します。「企業特論」では、企業の存在意義とその活動に関する本質的問題に対する見識を高めます。



奥山 徹
Toru Okuyama

企業法特論

データサイエンス特論

経営学研究法

〈修士論文のテーマ例〉

- ・中国－日本間の越境電子商取引における商品配送モデルの研究
- ・安全なデータ転送のための多様な暗号技術と結合するゲートウェイシステムの開発

インターネットを駆使した経営活動について議論します。その基盤となっているインターネットの特質はもちろん、その上で展開可能なサービスや商業活動（オンラインゲームや電子商取引等）について、様々な角度から研究していきます。

〈担当科目について〉

選択必修の「企業法特論」では、主に高度情報通信社会において企業が知っておくべき法律について概観します。例えば、個人情報の保護に関する法律や産業財産権とデジタルコンテンツに関連する法律、電子文書と電子認証に関連する法律などを取り上げます。「データサイエンス特論」では、多層ベイズ確率論、因果推論、確率論理などの最新のデータ解析手法を身につけるとともに、解析結果の活用について考えます。



小畠 信史
Shinji Kobatake

会計学特論

中小企業会計特論

経営学研究法

〈修士論文のテーマ例〉

- ・国際財務報告基準がわが国引当金会計に及ぼす影響
- ・中小企業の課税所得計算と税効果会計

税務会計、中小企業会計、国際会計などを主要な研究領域としています。修士論文の指導に際しては、基本的には、内外の文献を渉猟、考察するという手法を採りますが、可能なかぎり実務の動向にもふれ、実学としての会計学を意識していただけるように心がけています。

〈担当科目について〉

中小企業向けの会計基準は、もともと、企業活動のグローバル化と国際財務報告基準へのコンバージェンスを背景として相次いで導入された新会計基準がもたらした過重負担の問題を引き金として、その必要性が叫ばれたものです。変貌著しいわが国の制度会計について理解を深め、中小企業会計基準のあるべき姿を考究します。



グローバルロジスティクスプロジェクト
コーディネーター

土井 義夫
Yoshio Doi

物流特論

地域ロジスティクス特論

経営学研究法

〈修士論文のテーマ例〉

- ・海外市場拡大策（提携方式、競争状況等）
- ・機能・システム条件（規格・標準化、法規制、市場動向等）

企業効率化と環境保全に対応する物流体系に関する研究が基本となります。そのためには、経営環境の変化や、実務レベルの改善課題や経営戦略全般との折衝など、多くの経営課題と対峙していくスタンスが不可欠です。特に物流活動は、経営主体ごとに課題が山積しており、経営の職能レベルに応じた課題設定と、対応策に必要な手法の開発を検討していきます。

〈担当科目について〉

物流機能の特徴とその今日的な態様、コストとサービスへの対応等のための方途として、情報機能の活用、企業間連携の高度化を考察します。主に「物流特論」では物流市場の構成者の特徴・その関連、取り巻く諸要因を分析するための基礎的な技法を、「地域ロジスティクス特論」では、課題は経営課題の発見にあることから、物流力の構成要素を分析し、物流経営の特徴を学びます。



服部 徳秀
Norihide Hattori

経営情報学特論

経営情報システム特論

経営学研究法

〈修士論文のテーマ例〉

- ・企業における情報システムの動向
- ・IT人材育成の国際比較

企業などにおいて年々「情報」を戦略的に活用することの重要性が高まっています。また、このような情報システムを構築するために、最新の情報技術を修得した人材の育成が必要です。これらについて研究テーマの設定が可能です。なお、教員の研究テーマは、過去に構築した情報システムのソフトウェアのメンテナンスをサポートする手法についてです。

〈担当科目について〉

スマートフォンなどネットワークが普及した現代社会においては、他社にないサービスの提供など戦略的な「情報」の活用が企業の業績に大きく影響するケースが多々あります。「経営情報学特論」では戦略的に「情報」を活用している企業の事例などを取り上げ、理解を深めていきます。「経営情報システム特論」では、クラウドコンピューティングやビッグデータなど「情報」を処理する仕組みについて学んでいきます。



ソーシャルデザイン プロジェクト
コーディネーター
矢守 恭子
Kyoko Yamori

経営統計学特論

ソーシャルデザイン特論

経営学研究法

〈修士論文のテーマ例〉

- ・瑞穂市の水害時支援アプリケーションの開発
- ・IoT と人工知能を用いた観光マーケティング

IoT や人工知能がニュースに取り上げられ、様々な産業へ活用されつつあります。今ある仕事の47%以上が人工知能に置き換わると報告しており、全く新しい産業が生み出される可能性を秘めているといえます。また、ネットワークを使ったビジネスは、人工知能にとどまりません。IoT に代表されるようにすべてのモノがインターネットに接続され、協調して新しいサービスを作り上げていく、協創的なビジネスモデルが構築されています。本講義では、人工知能やIoT を分りやすく解説し、どのように情報を収集し、何を結果として得ることができるか紹介します。そして、ユーザとともに創り上げる新しいサービス品質について解説します。



壁谷 順之
Nobuyuki Kabeya

経済学特論

地方財政特論

経営学研究法

私たちの身の回りでよく耳にするテーマや話題の多くは、経済に関するものが満ちあふれています。例えば、TPP、消費税、年金などがその一例です。このような専門用語を理解していくには、日頃からTV のニュースや新聞・雑誌などに関心を持つだけでなく、今後どのように変化していくのかといった疑問を投げかけていくことが大切だと考えています。本講義では、経済学という幅広い学問領域の中から、政府の経済活動を中心に見ていきます。一般的に、政府の経済活動とは、国防・外交をはじめ、道路・公園建設など多岐に渡っています。私たちの日常生活は、こうした活動によって支えられていることから、皆さんと一緒に1つ1つをイメージしながら検討していきたいと思います。そして、政府の経済活動の現状・課題について、私たちの身近なテーマとして理解できるようにすることを目指します。特に、税金や年金といった私たちが比較的敬遠しがちなテーマに関心のある方の参加を歓迎します。



「経営学研究法」において「情報処理の考え方と情報処理技術」を担当します。

森下 伊三男
Isao Morishita

経営学研究法

修了生の声

藤澤 英和 〈2016年度 修士課程修了〉

朝日大学大学院では、多くのことを学ばせて頂きました。研究が始まったばかりの初期の段階では、研究の目的は決まっても何をどう進めるかといった計画にも戸惑うほどでした。しかし、研究を進めるにつれ、多くの方の協力を得られるようになり、研究において何が不足しているかが見えてくるようになりました。研究において大切なことは、視野を広く持ち、周囲の意見を柔軟に取り入れることが最も重要であることを教えられました。そして無事修士論文が完成した時は、喜びに包まれました。これらのことを胸に刻み、将来へと繋げていきたいと思っています。

タニタヤー・ブンヤー 〈2016年度 修士課程修了〉
THANITTAYA BOONYA

私は両親の影響もあって、学部在学の時から進学を考えていました。特に学部時代には学べない高いレベルでの研究の仕方や論文の書き方を身につけようと思っていました。研究テーマは、日本の高校に留学したタイ人の生徒が感じたカルチャー・ショックについてです。40名へのインタビュー、日本語訳と分析、それを学術論文として執筆し審査を受けることなど、大学院生でなければ得られない経験ができました。また修士号は母国でのキャリアのメリットになる上、将来の博士号取得への道が開けました。現在、大学院への進学を考えている人は、研究はどういうことなのか今は想像がつかないかもしれませんが。でも修士論文を書き上げたいという気持ちを忘れず、しっかりと正しい研究を行えば、困難も乗り越えることができると思います。

種田 智哲 〈2000年度 博士前期課程修了、2006年度 博士後期課程修了〉

私は、博士前期課程、博士後期課程と朝日大学大学院で過ごしましたが、研究室には、社会人や留学生も在籍していたため、ゼミなどで様々な観点、価値観から議論をしたことは得難い経験の一つとなっています。また、企業との共同研究、国内外での学会発表では、最先端の情報を見聞きする機会を多くいただきました。大学院では、より高度な研究が行えるのはもちろんですが、研究する上で、培われた「なんとかなる精神(ポジティブシンキング)」、「将来に役立つ深い人脈」を築くことができたことも何よりの収穫だと思っています。大学院修了後、研究で培った専門知識とプレゼンテーションの手法、課題解決スキルは、日常業務の中で、非常に役に立っていることを実感しています。

矢守 恭子 〈1996年度 修士課程修了、1999年度 博士後期課程修了〉

大学院で学んだことは、継続する大切さでした。私は通信サービスに対する品質と料金について研究してきました。それらの研究から、ユーザのための通信制御の提案をしています。この研究の特徴は、社会科学系の研究と工学分野の融合であり、人にとって望ましいサービスとは何か、どのように提供されるべきか、そのようなことを考えています。これらの研究の礎を築いたのは大学院の時であり、今に至るまでユーザのための研究を続けています。10年同じ研究テーマを続けているといつの間にか先頭に立っているとされたことがあります。今、それを実感しています。理系文系にとらわれない自由な研究を続けることができた環境に感謝しています。これからも、誰かが笑顔になれるサービスを提案していきたいと思っています。

おもな就職先

税理士事務所・会計事務所

衆議院議員選挙事務所

翻訳事務所

行政書士・社会保険労務士事務所

岐阜県庁ほか 官公庁

公立・私立学校(大学・高等学校) 教員

朝日大学教員・職員

NDS(株)

シーキューブ(株)

(株)インフォファーム

(株)魚国屋総本社

(株)VS N

(株)オーツカ

岐阜車体工業(株)

(株)ローソン

(株)構造化知識研究所

G. A. コンサルタンツ(株)

(株)ダイシン

(株)デジタルアソシエイト

トヨタ車体精工(株)

矢崎総業(株)

(株)ブリヂストン

ブルーム・リサーチ(株)

(株)マックスマウス

松定プレジジョン(株)

パナソニックソリューションテクノロジー(株)

マルヤス工業(株)

(株)蓑島刺繍

(株)ユーネットランス

岐セン(株)

東洋ワーク(株)

人形工房 人形の松井

テクノエイト(株)

ジャパンライフ(株)

(株)ティムス

(株)EMD

(株)ミノルトレイド

(株)UNEMOTO

(株)高津製作所

エースコック(株)

松波総合病院

太田病院

(株)伸和

ソナダグループ日本支社

(株)モンテローザ

(株)富士アセンブリシステム

濃飛倉庫運輸(株)

(有)早野研工

(株)ドン・キホーテ